

# 漁港

## ○漁港の役割

1. 生産活動の基地としての役割
2. 流通加工の基地としての役割
3. 漁村等地域社会の核としての役割

## ○漁港の種類

港種	説明
第1種	その利用範囲が地元の漁業を主とするもの
第2種	その利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの
第3種	その利用範囲が全国的なもの
特定第3種	第3種漁港のうち水産業の振興上特に重要な漁港で政令で定めるもの
第4種	離島その他辺地において漁場の開発または漁船の避難上特に必要なもの

## ○指定漁港

港種	全国	長崎県	比率
第1種	2,047	180	9%
第2種	525	33	6%
第3種	101	4	4%
特定第3種	13	1	8%
第4種	99	10	10%
計	2,785	228	8%

※全国：令和3年4月1日現在（水産庁漁港漁場整備部調）  
長崎県：令和3年4月1日現在（漁港漁場課調）

# 漁業協同組合

## 長崎県漁協の全国漁協との対比

（全国：令和元年度末現在）  
（長崎県：令和元年度末現在）

項目		全国(A)	長崎県(B)	(B/A)×100	
組合数		937組合	66組合	7%	
組合員数 (平均)	正	138名	123名	89%	
	准	163名	206名	126%	
	計	301名	329名	109%	
役員数 (平均)	理事	7名	7名	100%	
	監事	3名	3名	100%	
	計	10名	10名	100%	
職員数		12名	11名	92%	
事業 (実施組合平均)	信用	貯金	10,457,426千円	0千円	0%
		貸付金	1,133,453千円	0千円	0%
	購買品供給高	201,230千円	126,218千円	63%	
	販売品取扱高	1,298,683千円	706,698千円	54%	
	製氷取扱高	18,784千円	14,076千円	75%	
	冷凍保管料 冷凍販売高	150,510千円	117,219千円	78%	
出資金(平均)		209,296千円	111,113千円	53%	
総資本(平均)		1,548,295千円	335,826千円	22%	

※組合員数・役員数は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、「計」と各項目の合計値とは一致しない。  
※長崎県の平均は、業務報告書が提出された66組合の平均である。

出典：水産庁漁政部水産経営課作成「水産業協同組合統計表」  
長崎県水産部漁政課作成「水産業協同組合の概況」